

せっこうボード面及びその他ボード面

7章10節：合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP) 水性ビルデック艶消（ヤニ止め仕様）

使用材料一覧表

規格 一般名称		商品名	ホルムアルデヒド 放散等級	希釈剤
1	JIS K 5663 合成樹脂エマルジョンシーラー	水性マイティーシーラーマルチ	F☆☆☆☆	—
2	JIS K 5663 合成樹脂エマルジョンペイント	水性ビルデック艶消	F☆☆☆☆	水道水

塗装仕様

表7.2.7 セっこうボード面及びその他ボード面の下地調整【RB種】

工程		塗料その他			面の処理
		規格番号	規格名称	種類	
1	既存塗膜の除去	—			劣化し脆弱な部分を除去する。
2	汚れ、付着物除去	—			素地を傷付けないように除去する。
3	穴埋め、 パテかい	JIS K 5669	合成樹脂エマルジョンパテ	一般形	釘頭、たたき跡、傷等を埋め、不陸を調整する。
		JIS A 6914	セっこうボード用目地処理材	ジョイント コンパウンド	
4	研磨紙ざり	研磨紙P120～220			パテ乾燥後、表面を平らに研磨する。

(注) 1.屋外及び水回り部の場合は、工程3の合成樹脂エマルジョンパテは、塗料製造所の指定するものとする。
2.工程3のセっこうボード用目地処理材は、素地がセっこうボード面の場合に適用する。
3.けい酸カルシウム板面の場合は、工程3の前に吸込止めとして反応形合成樹脂ワニス(2液形エポキシ樹脂ワニス)を全面に塗る。ただし、屋内で現場塗装する場合は、吸込止め用いる材料は、上塗り塗料製造所の指定する水性塗料とする。
4.仕上げ材が仕上塗材の場合は、パテは仕上塗材製造所の指定するものとする。
5.新規にセっこうボードの目地処理工法(継目処理工法)を行う場合は、RA種とする。
6.新規に塗装又は壁紙張りを行う場合は、RA種又はRB種とし、工程1に代えて素地を十分に乾燥させる。なお、壁紙張りの場合は、壁紙専用のものとする。

表7.10.1 合成樹脂エマルジョンペイント塗り【A種】

工程		商品名	色相	混合比率 (重量比)	希釈率(%) (重量比)	塗装方法	塗付け量 (kg/㎡/回)	塗装間隔 (20℃)
1	下塗り	水性マイティー シーラーマルチ	透明なブルー クリヤー	—	無希釈	刷毛 ローラー	0.07	2時間以上 1ヶ月以内
						スプレー		
2	中塗り (1回目)	水性ビルデック 艶消	各色	—	5～15	刷毛 ローラー	0.10	3時間以上
					10～20	スプレー		
3	研磨紙ざり	研磨紙P220～240						清掃後
4	中塗り (2回目)	水性ビルデック 艶消	各色	—	5～15	刷毛 ローラー	0.10	3時間以上
					10～20	スプレー		
5	上塗り	水性ビルデック 艶消	各色	—	5～15	刷毛 ローラー	0.10	—
					10～20	スプレー		

(注) 1.新規に塗る場合は、A種又はB種とする。
2.押出成形セメント板面の下地調整は、表7.2.6によるRB種又はRC種とする。

7.2.7 セっこうボード面及びその他ボード面の下地調整
セっこうボード面及びその他ボード面の下地調整は表7.2.7により、種別は特記による。特記がなければ、RB種とする。

7.10.2 セっこうボード面及びその他ボード面合成樹脂エマルジョンペイント塗り
(a)合成樹脂エマルジョンペイント塗りは表7.10.1により、種別は特記による。特記がなければB種とする。
なお、天井面等の見上げ部分は、工程3を省略する。
(b)塗替えの場合のしみ止めは、特記による。特記がなければ、種別がB種及びC種の場合は、工程1の下塗りをしみ止めシーラーとする。
なお、しみ止めシーラーは、塗料の製造所の指定するものとする。

注意事項
* 上記塗付け量は国土交通省 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)平成25年版に掲載されている数値です。
そのため実際の塗付け量は被塗物の形状や、塗装方法、環境によって増減することがあります。
* 商品の詳細、塗装上の注意事項につきましては、カタログ、単品説明書などを参照ください。

公共仕様No.
DNT-改修・10-4-12